

2020年度（2021年3月期） 第2四半期連結決算概要

1.2020年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

減収増益：減収は4期ぶり、増益は2期連続（純利益ベース）

都市ガス販売量	△1,138百万m ³	：新型コロナ影響などによる業務用需要家の需要減及び発電専用需要家の需要減等
電力販売量	+2,692百万kWh	：小売件数増及び卸電力市場向け販売増などによる販売量増
売上高	△824億円	：都市ガス販売量減などによる「ガス」の売上減等
営業費用	△879億円	：都市ガス販売量減などによる「ガス」の原材料費減等
営業外損益	△39億円	：受取配当 △33億円
特別損益	+1億円	：(当期) 負ののれん発生益 +29億円 減損損失 △64億円 投資有価証券評価損 △40億円 ：(前期) 減損損失 △76億円

<2020年9月末現在連結会社数：連結子会社 105社、持分法適用関連会社15社> (単位:億円)

決算実績表	2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%
売上高 (歴代7位)	8,280	9,104	△ 824	△ 9.1
営業費用	7,764	8,643	△ 879	△ 10.2
営業利益 (歴代6位)	516	461	55	11.9
経常利益 (歴代7位)	497	483	14	2.9
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代8位)	293	283	10	3.5

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	84	26	58
年金数理差異償却額影響	4	△ 38	42

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2020年度2Q	2019年度2Q	増減
為替レート(¥/\$)	106.93	108.60	△ 1.67
原油価格(\$/bbl)	36.45	68.87	△ 32.42
平均気温(°C)(※)	21.3	21.1	0.2

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものの。

(2)都市ガス・電力販売量

		2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	1,242	1,238	4	0.3
	業務用	百万m ³	1,059	1,241	△ 182	△ 14.7
	工業用	百万m ³	2,469	3,346	△ 877	△ 26.2
	計	百万m ³	3,527	4,587	△ 1,060	△ 23.1
	他事業者向け供給	百万m ³	800	882	△ 82	△ 9.3
	合計	百万m ³	5,569	6,707	△ 1,138	△ 17.0

家庭用：新型コロナ影響等による需要増
 業務用：新型コロナ影響等による需要減
 工業用：発電専用需要家の需要減等
 他事業者向け供給：新型コロナ影響等による供給先需要減
 小売お客さま件数(千件)：8,975 (対前期△430) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。
 取付メーター数(千件)：12,005 (対前期+137) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	4,885	3,806	1,079	28.4
	卸他	百万kWh	6,917	5,303	1,614	30.4
	合計	百万kWh	11,801	9,109	2,692	29.6

小売：件数増及び新型コロナ影響による需要増
 卸他：卸電力市場向け販売増等
 小売お客さま件数(千件)：2,522 (対前期+470) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%	2020年度2Q	2019年度2Q	増減	%
ガス	5,440	6,396	△ 956	△ 14.9	478	471	7	1.6
電力	1,955	1,646	309	18.8	131	49	82	165.9
海外	191	207	△ 16	△ 7.4	17	70	△ 53	△ 75.5
エネルギー関連	1,541	1,623	△ 82	△ 5.1	57	62	△ 5	△ 9.1
不動産	229	221	8	3.7	42	55	△ 13	△ 23.1
その他	524	564	△ 40	△ 7.1	15	25	△ 10	△ 39.1
調整額	△ 1,602	△ 1,554	△ 48	-	△ 228	△ 239	11	-
連結	8,280	9,104	△ 824	△ 9.1	513	494	19	3.9

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
 ・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
 ・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等。
 ・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、エネルギーソリューション事業(エネルギーソリューション、エネルギーサービス等)、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	2020年度2Q	2019年度2Q	増減		2020年度2Q	2019年度2Q	増減
設備投資	1,220	1,056	164	D/Eレシオ	0.97	0.79	0.18
営業キャッシュ・フロー	1,147	1,109	38	ROA	1.1	1.2	△ 0.1
有利子負債	11,181	9,050	2,131	ROE	2.5	2.5	0.0

(注)有利子負債、D/Eレシオは2020年3月末との比較

2.2020年度 通期見通し

(1)通期見通しのポイント

<対前回> (7.29) 見通し	
営業利益	+140億円：「ガス」+77億円(家庭用等販売量増)、「電力」+20億円(夏場高気温による小売販売量増等)
<対前期> 減収増益(純利益ベース)	
都市ガス販売量	△1,285百万m ³ ：発電需要減に伴う工業用の減等
電力販売量	+3,542百万kWh：小売お客さま件数増等
売上高	△1,512億円：販売量減、フレーム影響による単価減等による「ガス」の売上減△2,233億円 他
営業利益	△145億円：「ガス」△62億円(販売量減、販売単価減)、「海外」△97億円(油価下落に伴う売上減)
当期純利益	+127億円：特別損益+333億円(当期△18億円 前期△351億円)
※3Q以降の経済フレームは変更なし(原油価格45\$/bbl、為替レート110円/\$)	

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	2019年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	12,570	-	-	-	13,855	△ 1,285	△ 9.3
電力販売量(百万kWh)	24,146	-	-	-	20,604	3,542	17.2
売上高	17,740	-	-	-	19,252	△ 1,512	△ 7.9
営業費用	16,870	-	-	-	18,237	△ 1,367	△ 7.5
営業利益	870	730	140	19.2	1,015	△ 145	△ 14.3
経常利益	800	-	-	-	1,027	△ 227	△ 22.1
親会社株主に帰属する当期純利益	560	-	-	-	433	127	29.1

経済フレームほか	今回	前回	増減	2019年度	増減
為替レート(¥/\$)	108.46	109.41	△ 0.95	108.71	△ 0.25
原油価格(\$/bbl)	40.34	41.38	△ 1.04	67.79	△ 27.45
平均気温(°C)	16.1	16.0	0.1	16.7	△ 0.6
スライドタイムラグ(億円)	△ 3	-	-	13	△ 16

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(3Q以降)				(単位:億円)
	売上高	原料	営業利益	
円・ドルレートが¥1/\$円安	9	18	△ 9	
原油価格JCCが\$/bbl上昇	4	17	△ 13	